



## 無防備な Wi-Fi が狙われる！？

# 自宅ルータのセキュリティ設定を見直そう

引用 <https://www.is702.jp/special/1715/>

ご家庭の Wi-Fi ルータのセキュリティは確認済みですか？ 無防備な状態で使用していると、**ネットワークの不正使用**や、**情報の盗み見**に遭う危険もあります。自宅で利用する Wi-Fi のセキュリティ設定を見直してみましょう。

### 無防備な Wi-Fi ルータが狙われる

Wi-Fi 環境ではセキュリティ設定に不備があると、悪意ある第三者によって通信内容を盗み見られ、場合によっては情報を盗まれたり、不正操作されたりする危険があります。深刻な場合、たとえば、**ネットショッピングやネットバンキング中の遠隔不正操作による金銭被害**や、**プライベートなメールを盗み見され、それを元に脅迫**を受けたりすることも考えられます。

ぜひ、ご家庭の Wi-Fi ルータのセキュリティ設定をチェックしておきましょう。

※ なお、ルータによって設定できる項目は異なりますので、お使いの機器の説明書も合わせて確認してください。

### Wi-Fi ルータのセキュリティ機能をチェック

必ずチェックしておくべき2つのポイントを確認しましょう。

#### ① Wi-Fi の設定をおこなう管理画面の認証パスワードを変更する

Wi-Fi ルータの設定変更をおこなう管理画面の認証用 ID/パスワードは、メーカーや機種ごとに初期値が一律（例：ID が root、パスワードが空欄など）で決まっていることがあります。このため、万一、第三者にルータへのアクセスを許すと、初期値の ID/パスワードで管理画面に入られ、**ルータを乗っ取られてしまう危険**があるのです。

#### ② 暗号化方式に WEP を使わない

Wi-Fi ルータは、接続する機器との通信を暗号化し、通信内容を第三者に盗み見られないようにする仕組みを備えています。暗号化の方式としては、WEP、WPA、WPA2 とよばれる3つのものがありますが、ポイントはセキュリティ強度の低い WEP を使わないことです。現在では WEP の暗号化は短時間で解読されてしまうことがわかっており、認証用 ID/パスワードが簡単に取られてしまう危険性があります。**よりセキュリティ強度の高い WPA2 を指定**しましょう。

それぞれの設定で、パスワードを指定する場合、英字、数字、記号などを組み合わせるなど、できるだけ複雑な値を設定してください。

**無用なトラブルに巻き込まれないよう、Wi-Fi ルータに適切なセキュリティを設定しましょう。**